



2021年度 年末年始ご利用実績

2022年1月5日

第21099号

2021年度年末年始期間(2021年12月25日～2022年1月4日)について、JALグループ航空会社便のご利用実績を取りまとめましたので、ご報告します。

【JALグループご利用実績】

1. 国内線 (JAL、J-AIR、JAC、HAC、JTA、RAC各社合計)

提供座席数		総旅客数		搭乗率	
	前年比/ 前々年比		前年比/ 前々年比		前年差/ 前々年差
1,452,081席 (2020年度 1,086,860席) (2019年度 1,542,097席)	133.6%/ 94.2%	1,061,940人 (2020年度 475,557人) (2019年度 1,253,355人)	223.3%/ 84.7%	73.1% (2020年度 43.7%) (2019年度 81.3%)	29.4pt/ ▲8.1pt

2. 国際線 (JAL)

提供座席数		総旅客数		搭乗率	
	前年比/ 前々年比		前年比/ 前々年比		前年差/ 前々年差
107,557席 (2020年度 78,153席) (2019年度 342,727席)	137.6%/ 31.4%	32,697人 (2020年度 16,424人) (2019年度 302,827人)	199.1%/ 10.8%	30.4% (2020年度21.0%) (2019年度88.4%)	+9.4pt/ ▲58.0pt

※前年比は2020年12月25日～2021年1月4日の実績と、前々年比は2019年12月25日～2020年1月4日の実績と比較しております。

詳細につきましては、添付別紙JALグループ各社ご利用実績をご覧ください。

概況

●国内線

全面的に前々年比8割程度まで回復しました。特に北海道・九州・沖縄方面は前々年比9割程度まで回復しており、需要の旺盛な日は臨時便の設定や機材の大型化を実施しました。

●国際線

新型コロナウイルス感染症流行の影響により入国規制がなされたことで、低調な結果となりました。